

令和7年 6月定例会 概要 (会期 6月12日～7月2日)

令和7年6月定例会県議会では、令和7年度一般会計補正予算案など21件の議案等が審議され、予算議案及び条例議案等17件、意見書案2件が可決されたほか、県民の方から提出された請願1件が採択されました。

また、任期満了となる佐賀県選挙管理委員会委員及び補充員の選挙が行われました。

令和7年度補正予算案については、提出された5件の予算案が原案のとおり可決されました。



○令和7年度補正予算関係

- ・令和7年度一般会計補正予算（増額後総額約5,221億8,200万円、対前年比0.3%減）
- ・土地取得特別会計補正予算、産業用地造成事業特別会計補正予算 など計5件

令和7年6月定例会で条例などが次のとおり可決されました

■ 条例（6件可決）

○世界海洋プラスチックプランニングセンター条例

【内容】 海洋プラスチック問題の世界的な解決を推進するため、世界海洋プラスチックプランニングセンター設置について定めたもの。

他5件

■ 意見書（2件可決）

○地方財政の充実・強化に関する意見書

○子どもたちの豊かな学びを保障するために、教員定数改善等、教育関連予算の拡充を図ることを求める意見書

■ 請願（1件採択）

○消費生活相談員の勤務条件、給与など処遇の抜本的見直しを求める請願書

その他の議案等はこちら→

令和7年6月定例会
議案採決結果一覧表（PDF）



「佐賀県議会 映像配信」や「会議日程」、「会議録」などがご覧いただけます。

佐賀県議会

検索



- ・令和7年6月定例会の概要、可決された条例・意見書など 1
- ・本会議質問 15人の議員が行った主な一般質問と答弁要旨 2～5
- ・委員会の概要 各常任・特別委員会の主な審議事項など 6～7
- ・その他の議会活動など 8



本会議質問

各議員が行った質問の中から一部を紹介いたします。

質問議員

※質問順

一般質問

6月18日（水）

- 指山 清範（さしやまきよのり）
- 石倉 秀郷（いしくらひでさと）
- 野田 勝人（のだまさと）
- 武藤 明美（むとうあけみ）
- 桃崎 祐介（ももざきゆうすけ）

6月19日（木）

- 定松 一生（さだまつかずお）
- 中本 正一（なかもとしょういち）
- 下田 寛（しもだひろし）
- 藤崎 輝樹（ふじさきてるき）
- 青木 一功（あおきかずのり）

6月20日（金）

- 田中 秀和（たなかひでかず）
- 猪村 利恵子（いむらりえこ）
- 古賀 陽三（こがようぞう）
- 古川 裕紀（ふるかわひろのり）
- 弘川 貴紀（ひろかわたかのり）



二次元コードから
各議員の質問の様子が
ご覧いただけます。



自由民主党
指山 清範 議員

鳥栖市選出



幼・保・小接続期の 教育の充実について



幼児教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものと考えますが、幼児期における教育の重要性について、知事の想いを伺いたい。

また、乳幼児期の教育・保育から学校生活へ円滑に移行するためには、幼・保・小の接続が重要だと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。



幼児期は人の基礎を作る大切な時期。接続期の子どもへの関わり方、環境によって子どもへの意識、学びの姿も変わっていくため、関係者が互いの教育について理解を深め、子どもたちが環境の変化を乗り越え、小学校生活に向き合えるよう取り組む。

今年度から幼・保・小の架け橋プログラムを実施し、新たに幼児教育や小学校教育に精通するコーディネーターを県に配置することを予定している。

子どもたちが前向きに小学校生活を送れるよう、教育委員会と連携し、取り組んでいく。



自由民主党ネクストさが
石倉 秀郷 議員

杵臼郡選出



九州新幹線 西九州ルートについて



九州新幹線西九州ルートについて、財政スキームの見直しに関し、国が動かないのであれば、佐賀県議会議員としてアクションを起こす時期が来ていると考える。

佐賀県議会議員として国に働きかけることについて、知事の所見を伺いたい。



新鳥栖―武雄温泉間は在来線を利用してフリーゲージトレインを走らせることで、佐賀県・長崎県、JR九州、国など同意したものである。国がフリーゲージトレインの開発を断念したことと今に至る。

佐賀県議会においても、西九州ルートの大変な経緯やフル規格整備の課題を前提に佐賀県の実情を踏まえた上で、国に対してご意見されることは意義があることと考える。

私は知事としてこれまでも様々なチャンネルで議論してきている。

これまでフル規格を否定したことはない。ただ、新たな話として議論すべきものと申し上げてきた。

引き続き、佐賀県にとって何が一番望ましい姿なのか更に検討を進めていきたいと考えている。



県民ネットワーク
野田 勝人 議員

多久市選出



産後ケア事業について



産婦人科医療機関のない市町や、里帰り出産でも住所地によらずに産後ケアが受けられるよう、現状の課題を踏まえ県は今後どのように取り組むのか。



市町において取り組まれている事業だが、地域における産科医療機関の受皿不足や、各市町の域外医療機関との調整負担などの課題があり、市町や医療機関の意見を伺っている。里帰り出産の場合にも県内の市町を越えて利用できるよう意向調査も始めた。

産後ケア事業が県内全域に広がり、県内の望む場所でケアを受けられるよう、事業の取組みを支援していく。





日本共産党
武藤 明美 議員
佐賀市選出



生活保護行政について

問 物価高騰の中、保護基準の引き上げ及び夏場の電気代等を補填する夏季加算の新設を国に求めているどうか。

また、世帯ごとに内訳が異なる加算の認定漏れを防ぐためにも、支給明細を配付してはどうか。

答

今年5月の国への政策提案で、物価高騰に見合った水準にすること及び夏季加算の制度化等について提案を行った。

加算の認定漏れ等に係る再発防止策のひとつとして、県及び認定漏れ等があった市の福祉事務所に対して、希望者に加算の明細を配付すること等を依頼し、認定漏れ等がなかった市の福祉事務所にも県の再発防止策を周知した。

また、国が今年中に生活保護業務に係る電算システムの仕様を全国統一する予定であることから、保護決定通知書への加算の明細表示について提案を行った。



自由民主党
桃崎 祐介 議員
唐津市・玄海町選出



※ 強度行動障害支援について

問

県独自で実施されている佐賀県強度行動障害支援者フォローアップ研修は、医療・福祉・教育の関係機関が他分野の理解を深め、支援者間の連携強化につながる大変貴重な機会である。

これまでのフォローアップ研修参加者の研修評価に対する県の認識と今後の取組みについて伺いたい。

答

フォローアップ研修は、県内在中の強度行動障害支援分野で高い専門性をお持ちの方や、医療、福祉、教育の現場の最前線で支援をされている方など、多くの関係者の皆様のご協力により作り上げたものであり、佐賀県の強みだと考えている。

今後とも当事者や現場のニーズを聴きながら関係者との連携を密にして、強度行動障害の状態にある方、そのご家族の方への支援に一層取り組んでいく。

※ 強度行動障害

自傷、他傷、こだわり、もの壊し、多動など本人や周囲の人のくらしに影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている状態。



自由民主党ネクストさが
定松 一生 議員
杵島郡選出



米価高騰について

問

米価高騰をJAや卸業者の責任だという声があるが、JAは農家と協力して戦後の復興、生産を主導し地方の農業を担ってきた。

食料安全保障の観点から、国内での安定生産、供給が重要である。米価高騰をどのように受け止められているのか知事の所見を伺いたい。

答

佐賀県では、全国的にも高く評価される米を開発・生産し、単価を上げようと努力してきた。

その価値に見合う高い価格で生産者の努力が報われるようになってほしいと考える一方で、おなかいっぱい食べられるような手ごろな価格のお米も必要だと思う。

この機会に、生産者と消費者がお互いに目を向けて、食の安全保障を含めた多面的で骨太な議論と意識醸成が進むことを期待している。



公明党
中本 正一 議員
佐賀市選出



児童福祉施設職員の安全確保について

問

5月に佐賀市内の児童福祉施設で大変痛ましい事件が発生したが、この事件に対する知事の受け止めを伺いたい。

また、今回の事件を受けて、県として施設職員の安全確保にどのように取り組んでいくのか。

答

職員の方が命を落とされたことは本当に痛ましく思っている。状況に応じた判断が必要となる言わば正解がない中で、常に幅広く検証するとともに、今回のような悲劇が二度と起こらないよう考えていくことが大切。

職員の安全確保について各施設に対し、それぞれの施設や現場の実態を踏まえたリスクの洗い出し、リスクを踏まえた安全対策づくり、関係者への周知徹底などを改めてお願いした。

引き続き、少しでもよい形がないか、施設の方々の声を聞きながら取り組んでいく。



県民ネットワーク
下田 寛 議員

鳥栖市選出



※サザン鳥栖クロスパークについて

問 サザン鳥栖クロスパークの開発は、県の新しい経済のエンジンになると期待されているが、県東部地域の産業集積の核、さらには次世代の雇用創出の拠点として育てていくために、県はどのように取り組んでいくのか。

答 サザン鳥栖クロスパークは優れた立地条件により多様なニーズに対応できる大規模な産業用地。

佐賀県初の官民連携型の開発プロジェクトであり、民間事業者による開発がスピーディーに進み、早期の分譲が実現できるよう鳥栖市と連携しながら伴走支援していく。

サザン鳥栖クロスパークの強みを最大限に生かし、PRしながら本県産業の成長を牽引するような企業の誘致を実現すべく全力で取り組む。

※サザン鳥栖クロスパーク
佐賀県鳥栖市に開発中の大規模な産業用地。



県民ネットワーク
藤崎 輝樹 議員

佐賀市選出



「旧青年の家」の現状と今後の活用について

問 九州の嵐山とうたわれる川上峡の近くにある県有財産「旧青年の家」は、歴史ある青少年育成の場として人を育てていくような場所として今後生かしていくべきだと思うが、現在どのような状況になっているのか。

また、今後の活用について県の考えを伺いたい。

答 この施設については、県立図書館の書庫が逼迫していた状況を踏まえ、平成26年度から県立図書館の書庫として有効活用をしている。

現時点では、当面の間、引き続き書庫として使用する予定だが、今後、県立図書館全体の収蔵をどのようにしていくのか検討していく必要があると認識している。



自由民主党
青木 一功 議員

佐賀市選出



外国人や海外資本による土地取得について

問 外国人や海外資本、特に中国による森林や水資源などの土地取得について強い懸念と早急な対応が必要であると感じている。玄海原子力発電所や目達原駐屯地などと同様に佐賀駐屯地を注視区域等に早急に指定する必要があると考えるが、県から指定を催促するよう申し入れできるのか見解を伺いたい。

答 重要土地等調査法の趣旨に鑑みると、佐賀駐屯地も対象になると思うが、国が行うことなので軽々には申し上げられない。

指定の手続きも定かではないところがあるが、できるだけスピーディーに行われるべきと考える。

なお、令和5年の本県での指定の折には、まず国から意見照会が行われ、県からの回答後、公布・施行された。

※重要土地等調査法における「注視区域」
重要施設や国境離島の周辺の区域内の土地が、それら施設等の機能阻害行為の用に供されることを防止するため、国が指定した重要施設の敷地周囲おおむね1000メートルの区域及び国境離島等の区域。(特に重要な施設等の場合は「特別注視区域」に指定)



自由民主党
田中 秀和 議員

唐津市・玄海町選出



ルート・グランブールの今後の展望について

問 唐房バイパス開通時に、海側を通って波戸岬までの約20キロ区間をルート・グランブルーとして打ち出されて一年半が経過したが、今後の展望について知事の所感を伺いたい。

答 県外からこの地を訪れたドライバーにはぜひ走ってほしいと思っており、ハード、ソフト両面から磨き上げようと6月9日にプロジェクトチーム「ルート・グランブルー」を立ち上げた。

新しい価値を生み出し、多くの人が訪れるエリアとして磨き上げていくことが大切。

今後の展開にぜひ期待していただきたいし、地元の皆さまにも一緒にご尽力いただきたい。





自由民主党
猪村 利恵子 議員
武雄市選出



女性相談支援について



問 社会がデジタル化し、便利になるものの何となくゆとりがなく、女性が生きづらさに直面している中、県では、電話相談に加え足を運びやすいまちなかで相談をうける「女性のためのほっとカフェ事業」に取り組まれていると聞いている。

人のぬくもりが感じられる大変よい取組みであることから、若い方が気軽に立ち寄れる相談場所の常設化など事業を拡充してはと考えるが見解を伺いたい。



答 問題を一人で抱え込まず必要な支援につなげるための「女性のためのほっとカフェ事業」は、令和3年度から開始し、月1回県内6か所で実施しており、令和6年度は延べ900名を超える方が利用された。

多くの方に支援の手が届くよう時間や場所なども試行錯誤しながら取り組んでおり、関係者と意見交換をしながらよりよいものとなるよう取り組んでいきたい。



自由民主党
古賀 陽三 議員
佐賀市選出



事務処理等の誤りについて



問 県では、事務処理等の誤りが相次いでいる。
食肉センターのプレハブ使用料の未払いや建築確認を怠る法令違反、道路工事費の過払い、メールの誤送信等々。知事はこの状況をどう受け止めているのか。



答 御迷惑をおかけした皆様にはおわび申し上げます。
職員が日々緊張感をもって業務を進めることは大前提だが、どうしてもヒューマンミスは起こり得る。それを減らしていくことが大切。

県は、小さいことも公表し、小さいところからできる限り横展開してミスをなくす。

食肉センターの事業では、不適切な契約と未払い、建築確認申請の未提出と確認前の工事着手という複合的なエラーがあった。にもかかわらず、部が把握し副知事に報告するまで三カ月以上を要しており、大きな課題と考える。これをきっかけに、全庁的な調査を指示。その結果もあり、事務処理誤りの発表が続いている。

一つ一つ丁寧に対応して改善を図っていく。



自由民主党
古川 裕紀 議員
神埼市・吉野ヶ里町選出



小中学校の教職員を孤立させない取組みについて



問 保護者対応に苦慮し、直接対応している教職員が孤立してしまうことが考えられる。
解決が難しい事例が発生した場合には、迅速かつ丁寧に対応するため、専門知識を持った第三者の介入が必要だと考える。対策室などの体制づくりを行ってはどうか。



答 職員を孤立させないためにも外部への相談を促し、対応に苦慮する事案が発生した場合は、スクールカウンセラーや、心理的な知見からアドバイスをする人、福祉などの関係機関につないだり調整したりする人、各市町の児童福祉の担当課、県の教育事務所の指導主事を含めたケース会議が開かれている。

このケース会議は機能していると考えており、これを活用して市町と県で連携し、しっかりとサポートしていきたい。



問 除草の地元委託は、自分たちの地域は自分たちで守る意識が醸成され、自発の地域づくりに大いに貢献して持続性の高い取組みとなっている。

県が管理する道路や河川の除草の地元委託について、現在の進捗状況はどうか。



答 令和6年度の道路、河川除草の地元委託は267団体に受託いただいております。道路の除草については、安全に除草作業ができるよう通過車両への注意喚起の看板貸出を開始した。

さらに、アンケートを実施し、よかった点、困っている点、改善してほしい点などの意見を伺った。いただいた意見を踏まえ実施可能な改善策について検討を進めていきたい。

また、新たな担い手を増やすこと、新規の団体の参画を促進することも大事と考えており、今年度から地元委託の制度やほかの地域の取組みについて、ホームページでの掲載、市町と連携したチラシの配布や区長会での紹介などを行い、今後も地域の協働の取組みの一つとして、道路、河川の除草を担っていただけるよう取り組んでいく。





総務常任委員会

付託議案7件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 土地取得特別会計補正予算について
- 暴力団排除条例の一部を改正する条例（案）について

【主な質疑事項】

- 県立大学について
- 国への政策提案について
- 佐賀空港の自衛隊使用要請について
- 関係人口創出チャレンジ事業について
- ストーカー事案への対策について など

【現地視察の様子】



佐賀県消防学校
(消防職員初任科(第69期)教育訓練の状況について)

文教厚生常任委員会

付託議案3件（うち1件に附帯決議案）が原案可決及び請願1件が採択されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 世界海洋プラスチックプランニングセンター条例(案)について
- 県有財産の取得について（附帯決議）

【主な質疑事項】

- 乳児院で発生した事件について
- 金立特別支援学校教室棟の整備について
- 県立図書館について など

【現地視察の様子】



やさ工房たたら大財店(PASSO OTAKARA)
(最新技術を活用した取組み等について)

農林水産商工常任委員会

付託議案6件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 国営土地改良事業に対する市町の負担について
- プレハブ使用料の未払いに対する損害賠償について

【主な質疑事項】

- 有明海や玄海の漁業振興について
- ノリの安定生産に向けた取組について
- 輸出関連企業価格転嫁・交渉支援事業について
- 佐賀型ドライバー人材受入チャレンジ事業について など

【現地視察の様子】



畜産試験場
(ゲノム育種価を活用した高能力な種雄牛の造成について)

地域交流・県土整備常任委員会

付託議案3件が原案可決されました。

【主な付託議案】

- 一般会計（補正）予算関係分
- 港湾整備事業特別会計補正予算について
- 樹木の枝折れによる工作物損傷事故に対する損害賠償について

【主な質疑事項】

- 九州佐賀国際空港の利用促進について
- 地域交通の現状と今後の取組方針について
- SAGAスポーツピラミッド構想の推進について など

【現地視察の様子】



牛津川(牛津川遊水地)
(河川激甚災害対策特別緊急事業について)

「有明水産振興センター」、「九州佐賀国際空港展望デッキ」及び「排水対策施設」について現地視察を行い、有明海再生に向けた取組状況、駐屯地整備工事の状況等及び排水対策施設の概要等について説明を受け、質疑応答を行いました。

委員会ピックアップ - 閉会中の動き -

7月7日に佐賀空港・有明海問題対策等特別委員会を開催し、「佐賀駐屯地」について現地視察を行いました。

佐賀駐屯地は7月9日に開設されました。

オスプレイ移駐に最低限必要な工事は6月30日付をもって完了しましたが、今後も駐屯地全体の完成に向けて工事が進められる予定です。

視察当日は開設直前の駐屯地施設の状況等について説明を受け、質疑応答を行いました。

【現地視察の様子】



九州佐賀国際空港 展望デッキ

県議会のここが知りたい！

各定例会の流れは次のようになっています。

招 集	知事が招集します
議会運営委員会	議員の中から委員を選び、議会の運営方法について話し合います
開 会	議長が開会を宣告します
会期の決定	議会の開催期間を決めます
議案の説明	知事が提出議案について説明します
質疑・質問	議員が議案や県の仕事（事業）について質問し知事や部局長が答えます
委員会付託	議案を専門的に審査するために関係の委員会に送ります
委 員 会	送付された議案・請願について審査し、委員会として賛成か反対かを決めます
委員長報告	委員会の審査が終わると再び本会議を開き、各委員長から審査の経過と結果を報告します
討 論	議員から議案について賛成か反対かの意見を述べます
採 決	議案について賛成か反対かを決めます
閉 会	全ての議案の採決が終わると議長が閉会を宣告します

■ 9月定例会 会期日程（予定）

本会議 (開会)	9月10日（水）
本会議 (一般質問)	9月17日（水） 9月18日（木） 9月19日（金）
常任委員会	9月25日（木） 9月26日（金）
特別委員会	9月30日（火）
委員長報告	10月1日（水）
本会議 (閉会)	10月2日（木）

※会期及び日程は変更される場合があります。
最新の日程は県議会ホームページでご確認ください。

佐賀県議会会議録

平成11年以降の
会議録を検索できます



インターネット中継

本会議（委員会）の様子を
リアルタイムで視聴できます
（開会中のみ）



録画放送

インターネット中継の日から
4営業日後を目途に
公開しています（土日祝除く）

令和元年以降の
映像を公開
しています！





議会棟の見学に来られました！

～佐賀市立 兵庫小学校 3年生のみなさん～



傍聴席や議場を見学し、実際に議員席に座り
議会の雰囲気を感じながら議会について職員
から説明を受けられました。



ありがとうございました！

議会棟を見学しませんか？

見学者大募集中！！

本会議等の行事がない日は、議会棟の見学ができます。※事前予約制

本会議場や傍聴席等をご案内し、議会の仕組みや施設の概要について学ぶことができます。
ぜひ、社会科見学や勉強会等にご利用ください。

見学時間 月～金 / 午前9時～午後5時（祝日、年末年始を除く）

所要時間 約30分 問合せ 0952-25-7215（議会事務局 総務課）

お読みになった
ご感想やご意見を
お寄せください

「さが県議会だより」
の次号は、12月1日発行です。

UD FONT

風やすい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

リーフレット「フリーレンたちと学ぶ地方議会」等のご紹介

三議長会（全国都道府県議会議長会、全国市議会議長会、全国町村議長会）では、これからの地域を担うこどもたちに、身近な課題を自分のこととして考え、議論し、合意形成を図ることの大切さや地方議会・議員の役割を周知するため、若者に人気の漫画「葬送のフリーレン」のキャラクターを使用した主権者教育用リーフレットを作成しています。

小学生・中学生向け



高校生・大学生向け



特設サイトでは
リーフレットの閲覧や
印刷のほか
クイズやトリビアなどで
楽しく学べます！

※リーフレットの頒布は、
令和10年3月末と
なっていますので、
ご留意ください。



©山田鐘人・アベツカサ／小学館